

大和田の丘に暖かい風が吹きはじめ、春の訪れが感じられるようになりました。この佳き日に、私たち二一七名はこの大宮商業高校を卒業します。本日、このようなすばらしい卒業式を挙行していただきました皆様に、卒業生一同、心より御礼申し上げます。

大宮商業高校で過ごした三年間は、本当にあつという間でした。三年前の春、着慣れない制服に袖を通し、不安と希望を抱きながら、この大宮商業高校の門をくぐりました。新しい環境に戸惑うこともありましたが、その不安は、新しい仲間と過ごしていく中で徐々になくなっていきました。

一年生では、友達ができるかまだ不安だった五月、遠足で飯ごう炊さんに行きました。皆で協力してカレーを作ったことで打ち解けることができ、クラスの仲が深まりました。

二年生では、待ち遠しく思っていた沖縄の修学旅行が一番の思い出です。特に、班別行動やホテルで仲間と過ごした時間はとても楽しく、充実した旅行となりました。

三年生になってからは、時間があつという間に過ぎたように思います。それぞれの進路実現のための取り組み。高校生活最後の文化祭、体育祭、球技大会。どれもが特別な思い出となりました。時には辛いこと、苦しいこともありましたが、仲間や両親、先生方の支えがあったから乗り越えることができました。

今こうして大宮商業高校で過ごした日々を思い返してみると、忘れられない大切な思い出ばかりです。そして、いつも私のそばには友達がいました。時にはぶつかり合って嫌になったこともあったけれど、今思えばそれも大事な思い出で、私にとってかけがえのないものとなっています。

また、ここまで私たちが成長できたのは、先生方がいつの日も温かく支えてくれ、熱いご指導をしてくださったおかげです。ありがとうございました。

そして何より、十八年間私たちの成長をそばで見守り、育ててくれた家族。私は学校で何かうまくいかないことがあると、家族に理不尽に当たってしまい、たくさんの迷惑をかけました。そんな私をさぞ心配したことでしょう。でも、どんな時も、私の一番の味方でいてくれました。家族の支えが強い励み、力になり、困難に立ち向かい、乗り越えることができたのだと思います。本当にありがとうございました。まだまだ未熟で迷惑をかけてしまうこともあると思いますが、早く親孝行ができるように頑張りますので、どうかこれからも温かく見守ってください。

在校生の皆さん、高校での三年間は本当にあつという間です。勉強も部活動も遊びも、今できることを全力でやってほしいと思います。

早く卒業したいと思っていましたが、いざ卒業となるとやはり少し寂しいです。今ここに立っていても、まだあまり実感がわきません。でも、今日、私たちはこの大宮商業高校を巣立ちます。ここからは一人ひとり新たな道を歩んでいくことになりますが、ここで学んだことを糧に前進していきます。

最後に、本日私たちの卒業式にお忙しい中ご列席くださいましたご来賓の皆様、校長先生をはじめとする諸先生方、在校生の皆さん、そして保護者の方々に、心より感謝申し上げますとともに、大宮商業高校のますますのご発展をお祈りして、答辞といたします。